

# 国の天然記念物に指定へ 立山カルデラの新湯

当館 2 階立山カルデラ展示室にて新湯産「玉滴石」展示中！



青白い湖面から湯気をあげる新湯



新湯の位置

新湯は立山カルデラ内にある直径約 30m の円形の火口湖です。もともと隣にある刈込（かりこめ）池と同じように冷水の池でしたが、1858（安政 5）年の飛越地震をきっかけに 70℃の温泉水が湧き出すようになったといわれています。

新湯はオパール的一种である希少な鉱物「玉滴石（ぎよくてきせき）」の国内有数の産地として有名です。立山一帯が活火山であることを示す証であり、現在も「玉滴石」をつくり出している点が認められ、今回、富山県内で 22 件目の国の天然記念物に指定される運びとなりました。



上空から見下ろした新湯



天然のオパール「玉滴石」